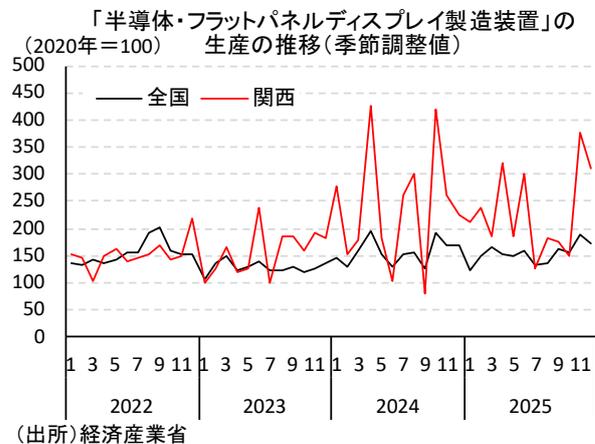
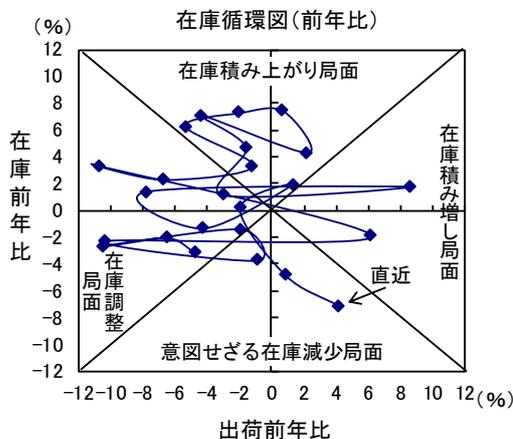
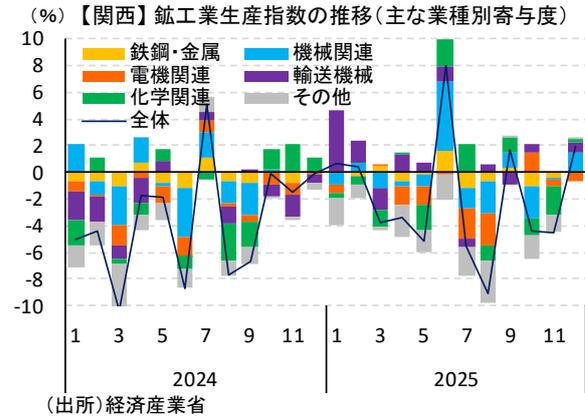
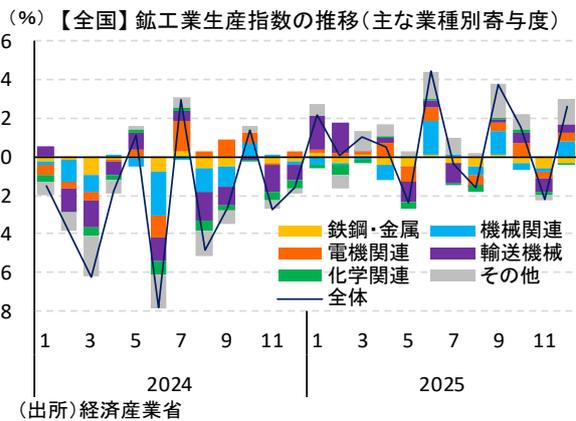


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25年12月）】

- 25年12月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で2.0%増と、3か月ぶりの増加となった。業種別には半導体製造装置や建設用機械などの機械関連のほか、輸送関連が増加し、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月と同様に、「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面となっている。これが継続的な動きか否か、来月の動向が注目される。
- 直近の関西の生産動向で注目されるのは、半導体製造装置の増加であろう。今月の生産全体の増加をけん引したのも、この動きが中心となっている。米国等による規制に翻弄されやすい品目であるが、直近は中国向けの輸出も増加傾向が続く中、今後の推移が引き続き注目される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。